



京都地本ニュース

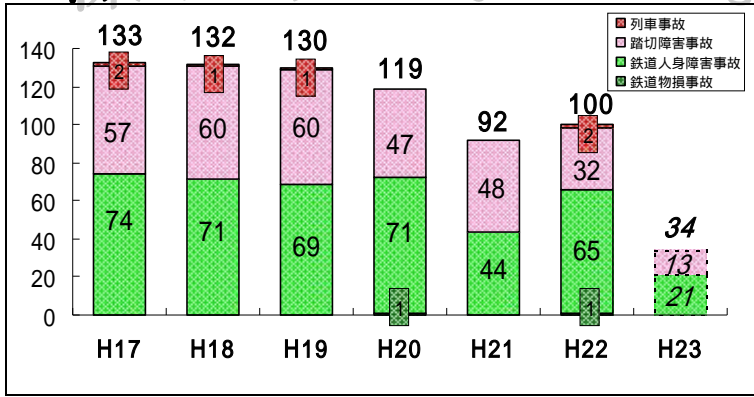
JR西労組
No.249 2012年1月1日

西日本旅客鉄道労働組合 京都地方本部

発行責任者:小川 寛
編集責任者:橋村雄一

〒600-8216 京都市下京区烏丸通塩小路下ル東塩小路町(京都駅構内 忘れ物センター2階) 電話N T T 075-342-0850 J R 078-2401・2402

深めよう絆。いっしょにがんばろうNIPPON!!



福知山線列車脱線事故から今年四月で七年です。今年も年頭にあたり改めて、「決して事故を忘れず、安全最優先の会社を責任組合の立場で創るのだ。」と決意を込めて、お亡くなりになられました百七名のご冥福をお祈し、お心やお体に傷を負われた皆様の一日も早いご快癒を、衷心よりご祈念申し上げます。

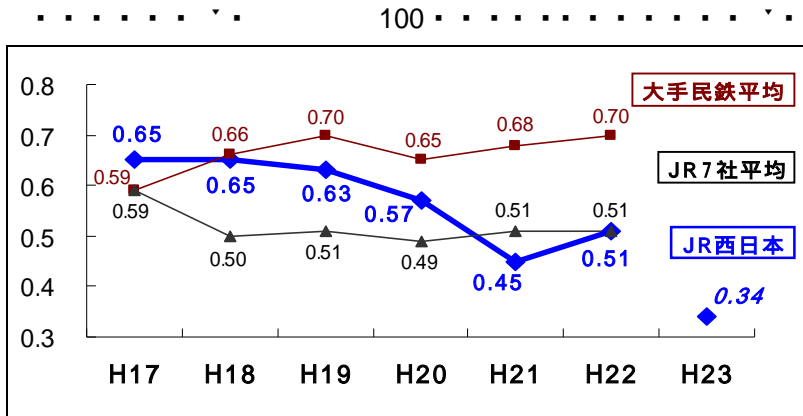
左のグラフのとおり、現場組合員各位の日々の愚直

あけましておめでとうございます

いま出来ることを全力で

JR西労組 京都地方本部

執行委員長 小川 寛



な努力の積み重ねで、鉄道運輸事故は、減少しており、列車走行百万キロあたりの運転事故件数は、大手民鉄やJR七社の平均を下回る状況になっております。

今年も引き続き、愚直にひたむきに『安全・安定・安心』輸送に取り組んでいきたいと考えます。皆様のご理解とご努力をお願い申し上げます。その為、より強固な信頼関係の構築に、取り組みます。

また、東日本大震災に対しては、皆さんにカンパや救済物資にご協力を頂きました。十月には、バスで福島に向かい視察と共に、伊達市での風評被害の事態を聞き、野菜・果物等をバス一杯に買って来ましたが、引き続き出来る支援を企画したいと考えています。

今年JR西労組は、職場討議を重ねて、「職場のあり方」を提言していきますので、皆様の積極的なご参加をお願いします。残念ながら、交通基本法の成立が継続審議となっておりますが、少子高齢化や環境問題も深刻になっており、政策活動や、地域と共生する、地域活性化運動にも、これまで積み重ねて来た組織共闘活動や、連帯活動の取り組みを進めます。

昨年は、OSCや九州新幹線相互直通乗り入れの二大プロジェクトがスタートしました。

JR発足から二十五年、JR西労組結成から二十年の記念する年です。先重から受け継いだ運動に自信を持って、組織の強化・充実で足腰を固めなが



ら、皆の力で前進させていきたいと考えていますが、昨年末に気になる事象が発生しています。風通しの良い職場とコミュニケーション作りが安全を最優先する基盤であると、事あるごとに確認をして来ましたが、再度職場内での「絆」と双方のコミュニケーションについて全員で再認識をいただきたいと思っております。

JR西労組京都地本に結集する組合員の皆様の心と体が健康で、本年が皆さんやご家族にとって幸せ多い一年となりますように、ご祈念申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。



二〇一二年

執行委員長	小川 治幸
副執行委員長	谷口 利嘉
副執行委員長	川端 明一
書記 長	高林 準
企画・安全部長	柴田 功明
組織共闘部長	松本 和幸
政治対策部長	熊谷 幸一
業務部長	北村 時彦
情宣文レク部長	橋本 雄一
政策調査部長	塚本 直賢
教育部長	東本 智史
男女共同参画部長	曹阪 広美
福祉対策部長	山崎 史郎
特別執行委員	藤田 生史
会計監査員	戸嶋 直毅
会計監査員	鈴木 直毅
地本書記	東本 直毅
地本書記	田中 直毅
北支支部	上田 直毅
京都支支部	宮岡 直毅
滋賀支支部	史恵子

二大プロジェクト体感考動券獲得

2012 () ()
10.000 /

